

サマーセミナー2019報告

滝本 裕則¹⁾, 青木 義満²⁾, 飛谷 謙介³⁾

1) 岡山県立大学 2) 慶應義塾大学 3) 関西学院大学

2019年度のサマーセミナーは、8月26日～27日の2日間、岡山県倉敷市下津井の鷺羽グランドホテル 備前屋甲子にて開催された。若葉研究会の発表は20件、チュートリアルセッションでは1件の特別講演をお願いした。参加者数は企業4名、大学教員15名、学生22名の合計41名であった。

1. はじめに

第28回目となるサマーセミナーは、岡山県倉敷市下津井の鷺羽グランドホテル 備前屋甲子において8月26日、27日の2日間にわたり合宿形式で開催された。映像情報メディア学会メディア工学研究会との共催は今回で16回目となる。

サマーセミナーの主目的は、学生や企業の若手研究者など若葉研究者に研究発表の場を提供すること、若葉研究者と研究指導者（企業研究者や大学教員）との交流の場を与えること、両学会の研究室学生諸君、研究者同士の交流を図ることである。

2. 開催準備と実施形態

2018年11月から企画を開始し、両組織で検討を重ねた。共催となってからは両組織が交代で主担当となっており、今回は画像応用技術専門委員会が中心となって開催した。以下に示す企画委員会を設置し、滝本委員長のもと、青木幹事（メディア工学研究会）、飛谷幹事（画像応用技術専門委員会）が中心となって準備を行った。構成は以下の通りである（敬称略）。

画像応用技術専門委員会側

- ・滝本 裕則（岡山県立大学、委員長）
- ・飛谷 謙介（関西学院大学、幹事）
- ・小室 孝（埼玉大学）
- ・菅野 純一（ヴィスコ・テクノロジーズ）
- ・森野 比佐夫（ファースト）
- ・興水 大和（中京大学、YYCソリューション、アドバイザー）

メディア工学研究会側

- ・青木 義満（慶應義塾大学、幹事）
- ・入部 百合絵（愛知県立大学）
- ・北川 正理（東京農工大学）
- ・多田 昌裕（近畿大学）
- ・東海 彰吾（福井大学）
- ・村松 正吾（新潟大学）
- ・渡邊 修（拓殖大学）
- ・村上 和人（愛知県立大学、アドバイザー）

サマーセミナーでは、若葉研究会での優秀な発表者に表彰が贈られる。優秀発表賞については、以下の11名で構成される優秀発表賞 審査委員会を設置して審査を行った。例年と同様、審査委員会の委員全員がすべての発表を聴講することにより公正かつ平等な審査を行った。

【優秀発表賞審査委員会（敬称略）】

代表会委員

- ・滝本 裕則（岡山県立大学、委員長）
- ・青木 義満（慶應義塾大学、幹事）
- ・野口 稔（日立ハイテクノロジーズ、画像応用技術専門委員会委員長）
- ・田川 憲男（首都大学東京、メディア工学研究会委員長）

審査委員（50音順）

- ・小室 孝（埼玉大学）
- ・興水 大和（中京大学）
- ・菅野 純一（ヴィスコ・テクノロジーズ）
- ・多田 昌裕（近畿大学）
- ・東海 彰吾（福井大学）
- ・森野 比佐夫（ファースト）
- ・村上 和人（愛知県立大学）

3. サマーセミナー報告

3.1 参加者数と開催状況

参加者数は企業4名、大学教員15名、学生22名の合計41名（男性40名、女性1名）であった。御協力頂いた関係各位に感謝申し上げたい。

セミナー会場は60名収容可能であり、ゆとりのある座席の配置であった。スケジュールに関しても、当初の予定通り進めることができた。

3.2 若葉研究会

若葉研究会にて20件の発表があった。リラックスした雰囲気でありながら活発な議論となり、どの発表でも質問が多く積極的な情報交換が行われた。座長は、東海 彰吾氏（福井大学）、小室 孝氏（埼玉大学）、多田 昌裕氏（近畿大学）、菅野 純一

(ヴィスコ・テクノロジーズ), 村松 正吾氏 (新潟大学) にご担当いただいた. セッションを非常に円滑に進行して頂いた座長各位に感謝したい.

3.3 チュートリアルセッション

今年度は「ビジョン技術の今を知り、未来を切り拓く」というテーマのもと、1名の講師に特別講演をお願いした. 2日目の若葉研究発表後に、原 健翔 様 (産業技術総合研究所) に、「コンピュータビジョンの今を映し、トレンドを創るチャレンジ」と題して、cvpaper.challenge (<http://xpaperchallenge.org/cv/>) で取り組まれている「グループサーベイの方法」を中心に、学生や若手研究者をエンカレッジする刺激的なご講演をしていただいた. 論文の概要だけを速読し、多くの論文の知見を広く獲得することを目的とした多読ステップ、少数の論文に絞って詳細に読み込み、実装できるレベルで内容を把握することを目的とした精読ステップなど、具体的な取り組みをご説明いただき、若葉諸君にとって今後の学術活動の参考になったことであろう. お忙しい中ご講演頂いた原様にはこの場を借りて心より感謝申し上げます. なお、座長は、飛谷 謙介氏 (関西学院大学) にご担当いただいた.

3.4 最優秀発表賞

どの発表もレベルが高く、審査員を大いに悩ませた結果、以下の2名の受賞者に賞状とカップが贈呈された (図1).

【優秀発表賞受賞者 (発表順)】

児玉 侑也氏 (新潟大学)

高橋 愛氏 (東北大学)

優秀発表賞のカップは持ち回りで、今回のサマーセミナーまで受賞者の研究室に飾られる. 研究の励みになることを期待する. 次点は堂前 幸紘氏 (岐阜大学) がオーナブルメンションとして紹介された.

3.5 懇親会

入浴後、宴会場 鷺羽の間にて夕食をとり、休憩を取った後に研究会会場にて懇親会を行った. 親密な雰囲気の中、世代を超えたタテの交流、同世代のヨコの交流が行われた. 参加者の手土産により潤沢な飲み物・各地名産の食べ物がそろい、恒例となっている手土産の紹介等もあり、大いに盛り上がった. 中締めの後場所を移動し、有志参加の2次会が行われ、例年通り深夜まで教員・企業人・学生の枠を超えた歓談が行われた.

4. おわりに

今年度のサマーセミナーも、和やかな雰囲気のうちは無事終了した. 図2は、会場玄関前にて、瀬戸内海をバックに撮影した集合写真である.

サマーセミナー2019の準備にあたり、会場設営・運営補助にあたった岡山県立大学、慶應義塾大学の学生各位、料金設定や会場準備等でご配慮いただいた鷺羽グランドホテル 備前屋甲子の皆様には心より御礼申し上げます. また、お世話になった皆様に全員に、紙面を借りて感謝の意を表したい.

今回のサマーセミナーは、メディア工学研究会が中心となって開催する. 青木 義満委員長 (慶應義塾大学) を中心に企画を行い、2020年夏に関東地方で開催する予定である.



図1 優秀発表賞受賞者 (中:高橋氏, 右:児玉氏)



図2 サマーセミナー2019 集合写真 (2019年8月26日 鷺羽グランドホテル備前屋甲子にて)